



新潟県

NEW 県立病院ニュース

～病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して～

第154号 令和3年5月 病院局発行

県立病院の新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症対策をご紹介します！

今回は、感染症指定医療機関であり、県立病院で最初に新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れるなど、新型コロナに積極的に対応してきた新発田病院で、感染症対策の取組について話を聞きました。

※個人名は伏せております。

本日はよろしくお願ひします。まだまだ新型コロナウイルスが猛威をふるっていますが、一方で通常の診療も行わなければならないと思います。地域の患者さんが安心して利用できるようなどんな取組をしていますか。



来院前の体温測定、来院時のマスク着用や手指消毒にご協力いただいております。発熱のある方が外来にいらっしゃる場合には必ず事前の電話連絡をお願いしています。

また、院内の導線を一方通行にするとともに、会計窓口や自動支払機前などはソーシャルディスタンスが取れるようなレイアウトにしています。



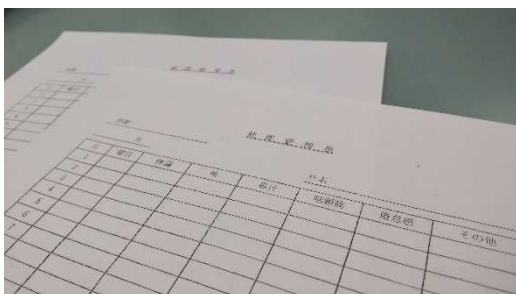
▲ソーシャルディスタンスの確保
：まずは基本の対策を徹底

院内感染対策としてはどのような取組を実施していますか。

まず、全スタッフが毎日の健康チェックを実施しています。
また、新型コロナウイルス感染症の入院患者さんと一般の患者さんが廊下で出会ったりしないように移動の調整を行い、面会については残念ですが原則禁止としています。



さまざまな取組を行っているんですね。現在は体制が整っておりますが、それまで準備や研修が大変だったと思います。当時を振り返ってみていかがですか。



◀健康管理表：事務職含めて全スタッフが実施





そうですね。新型コロナウイルス自体の情報が全くなかったので、正確な情報を収集して現場の対応へ反映させるのが大変でした。

また、下の写真のように患者さんとの接触感染を予防するためキャップの着用方法を工夫したり、ナースコールにすぐ対応できるように、ナースステーションをレッドゾーン内にも設置するなど、少しずつ改善を行っていました。



◀頭上で縛るなど防護服と体の間に隙間ができないように工夫しています



◀病棟内は関係者以外の出入りを制限しているので、電球交換も職員自ら行います

ほかにはどんな苦勞がありましたか。



新型コロナウイルス感染症に関する情報が少なく、スタッフ間でも感染するかもしれないという不安が強かったです。当初は漠然とした恐怖から職員の同居家族が出勤を拒否されることなどもあり、メンタル面で厳しいところがありました。いろいろな情報が氾濫する中で正確な情報を入手することがいかに大切なのか、強く感じました。



最後に一言お願いします。



地域の方々が安心して病院を利用できるよう、これからも職員一同頑張ります！



【編集後記】

実際に従事している職員の苦勞や、リアルな声を聴くことができました。現在、ワクチン接種会場へのスタッフ派遣も予定されており、引き続き、地域の方々のために尽力していきたいと思えます。

～県病ニュースーロメモ～

地域連携部門の名称が「患者サポートセンター」になりました

入院から退院・在宅療養まで患者に対し切れ目のない統合的な支援を行うことをストレートに表現し、患者からも分かりやすい名称にするため、令和3年4月1日から地域連携部門の組織名称を統一し、「患者サポートセンター」に改称しました。業務は引き続き入院から在宅までの総合的な支援を行っていきますので、よろしくお願いします。

中央病院	地域連携センター
十日町病院	地域連携センター
加茂病院	地域連携センター
新発田病院	地域連携センター
リウマチ病院	地域連携センター
吉田病院	地域連携室
がんセンター新潟病院	地域連携・相談支援センター

患者サポートセンター
に統一